

複合型サービスケアホーム希望

希望
のぞみ

ニュース
Vol.19 平成27年4月号

(株)つつじヶ丘在宅総合センター
〒182-0006
調布市西つつじヶ丘2-19-6
第三コーポ横田 1F

☎ 03-5315-5722



超高齢化社会の在宅介護を考える

超高齢化社会となり、総務省の発表では日本の人口の4人に1人が65歳以上の高齢者であり、認知症高齢者も460万人を超え、65歳以上の高齢者のうち5人に1人が認知症と言われております。今や誰しものが認知症になる可能性があります。

今回、消費税率10%の引き上げが先送りとなり、国の財政不足を背景に今年の4月からは介護報酬が大幅に改正され、さらに介護業界は厳しい現状にあります。

誰もが年をとって介護が必要となったら利用できると安心していた介護保険制度にも大きな痛手となっているのが現状です。

しかし、今回の改正において、要介護度の重い利用者や重度の認知症高齢者を受け入れる介護保険事業所に対しては、介護保険制度の報酬改正で評価（アップ）されています。

介護職は毎年8万人近い増員が必要とされる中、現状は低賃金で過酷な労働であるとして、介護職離れが深刻な社会問題となり、外国人介護スタッフの受け入れ緩和や介護ロボットの導入がメディア等で取り上げられ、注目を集めておりますが、果たして本当に高齢者の心の安らぎ、精神的緩和ケアがどこまで達成できているか定かではありません。

更には、第一次ベビーブームであった団塊の世代の人たちが2025年（10年後）には75歳以上となり、社会保険制度に新たな課題が生まれます。



10年前には「年金で老後をゆっくり過ごそう」と、思っただけにしていた年金もいつの間にか減らされ、生活のために再雇用で働き続けなければならないのが現状です。

日本の「いま」を支えてきた団塊世代の人たちは「自分たちの老後は自分たちで守る」と、考える時代だと思えます。

それにはまず「やりがい、や「生きがい、働きがい」をもち、健康で過ごすためにはどうしたらよいかを話し合える場が必要だと思っております。

「ケアホーム希望」では、2ヶ月に1度、利用者ご家族の皆様たちが話し合える場として「家族会」を開催しております。同じ悩みを持つ家族同士で悩みやこれからの介護について話し合う時間はもちろん、介護についての「勉強会」も行っております。

在宅介護について「自分たちだけが大変だ」と思わず、まずは相談、話し合いに参加してみましよう。

是非、地域の皆様にも参加していただきたいと思っております。



お花見



満開の桜を見に
お花見ドライブに
出かけてきました！



寝たきりになっても
花見が出来るとは
思わなかったな



私たちは…
どこに行っても
食べてるわね



桜を見に行くため
今は食べて
体力をつけなくちゃ！



「花より団子組」

入院して足腰が
弱っちゃったから
たくさん食べて
リハビリしなくちゃ！

4月の 誕生日会

おたんじょうび!
おめでとう!!



祝 94歳



祝 91歳

嬉しいね～



祝 94歳

いくつに
なったんだっけ？
私は…



祝 89歳

いくつになっても
祝われるのは
嬉しいもんだね



祝 93歳



祝 87歳



うまいな！



すごい
回復力！



新規利用者様の紹介

Yさん 93歳 女性



早く家で
生活したい…

肺炎と骨折で入院した
後は、〇〇老人保健
施設に約1年いた
が、本人、家族の希望も
あり在宅療養生活となり、
今月から「ケアホーム希望」
の利用となりました。
皆さんよろしくお願ひします！